

歌舞伎をつくる

（伝統から未来へ）



撮影：東京都立日比谷高校写真部

講師 戸部和久

歌舞伎脚本家・演出家

令和6年

2月10日(土)

13時15分 開場 14時 開演

星陵会館ホール

(定員250名・全席自由)

チケット：高校生以下無料
(要予約・当日学生証提示)

大学生1000円、一般 2500円

申込：Peatixサイトより <https://seiryojigyoyo240210.peatix.com>

申込・お問合せ：公益財団法人星陵会

事務局 Tel/03-3581-5650 (平日・土曜10時~17時)

ゲスト
中村鷹之資

歌舞伎俳優

聞き手

竹平晃子

フリーアナウンサー



歌舞伎をつくる ~伝統から未来へ~

400年以上に渡り人々を魅了する歌舞伎

その歌舞伎の「新作」をつくるとは？

新しいことに挑戦し続ける伝統芸能の未来について語ります



戸部和久 歌舞伎脚本家・演出家

昭和59年東京生まれ。父は歌舞伎脚本、演出家の戸部銀作。平成19年松竹に入社。主に新作歌舞伎の脚本を手掛け、ラスベガスのホテルベラージオの噴水に特設舞台を組んで上演した『鯉つかみ』を皮切りに、歌舞伎座で毎年八月に上演され夏芝居の風物詩となった『東海道中膝栗毛』、歌舞伎とフィギュアスケート「氷艶『破沙羅』」、スタジオジブリの名作を全巻通して歌舞伎化した新作歌舞伎『風の谷のナウシカ』、小劇場の聖地下北沢本多劇場での新作歌舞伎「赤胴鈴之助」、漫画やアニメでおなじみの『ルパン三世』の歌舞伎化「新作歌舞伎『流白浪燦星』」など、数多くの話題作を手掛ける。

表紙および以上の写真3点は、東京都立日比谷高校写真部の生徒が撮影しました



ゲスト / 中村鷹之資

平成11年東京生まれ。五代目中村富十郎の長男。
平成13年4月歌舞伎座で中村大を名のり
父の『石橋』で文珠菩薩を勤め初舞台。
平成17年11月歌舞伎座『鞍馬山誉鷹』の
牛若丸で初代中村鷹之資を披露。

©TadaoMatsuda ©SHOCHIKU ENTERTAINMENT



チケット 高校生以下無料

(要予約・当日学生証提示)

大学生 1,000円、一般 2,500円

申込受付開始 2024年 1月9日 (火) 10時~

チケット申込 Peatixサイトより

<https://seiryojigyo240210.peatix.com>

申込・問合せ 星陵会事務局 TEL/03-3581-5650

(平日・土曜10時~17時)

撮影協力 東京都立日比谷高校写真部

安藤心太朗 尾原秀澄 粕谷美澄 門脇優奈

企画制作 株式会社シアターワークショップ

主催 公益財団法人星陵会

後援 千代田区



★交通（地下鉄）のご案内

有楽町線、半蔵門線、南北線 「永田町」 駅下車 6番出口・徒歩3分

千代田線 「国会議事堂前」 駅下車 5番出口・徒歩5分

南北線、銀座線 「溜池山王」 駅下車

(「国会議事堂前」 駅5番出口)

銀座線、丸ノ内線 「赤坂見附」 駅下車 徒歩6分



公益財団法人星陵会

〒100-0014

東京都千代田区永田町2-16-2星陵会館

Tel/03-3581-5650 Fax/03-3581-1960

(平日・土曜10時~17時)

<https://www.seiryokai.org/>